



減らそう犯罪通信

平成22年12月号

発行・編集

広島県警察本部
減らそう犯罪推進室
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

◎ 年末年始における犯罪及び事故等の防止活動の推進

例年、この時期に多発が懸念される金融機関・コンビニ強盗などの犯罪被害や初詣等による雑踏事故等を防止するため、12月1日(水)から来年1月3日(月)までの間、犯罪及び事故等の防止活動を推進します。

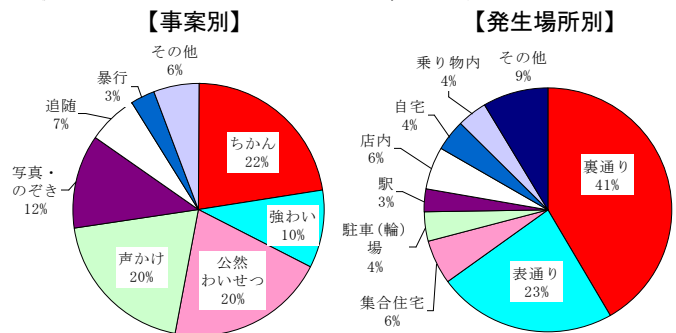
明るい新年を迎えるためにも、一人ひとりが防犯意識を高めましょう。また、次の日程でキャンペーン等が行われますので積極的な参加をお願いします。

- 広島地区 12月10日(金) 午後6時から午後7時までの間
 - ・ 参加者：知事，広島市長，公安委員会委員長，警察本部長，防犯連合会会長，防犯ボランティア団体，警察音楽隊等
 - ・ 内容：本通り商店街での県警察音楽隊を先頭とした年末街頭パレード及び流川・薬研堀地区でのボランティア激励
- 福山地区 12月14日(火) 午後6時から午後6時45分までの間
 - ・ 参加者：福山市長，公安委員会委員，警察本部長，防犯ボランティア団体等
 - ・ 内容：福山市役所からJR福山駅，御船地区での年末警戒パトロール及びボランティア激励

◎ 子ども女性対象の性犯罪・声かけ事案などの把握状況

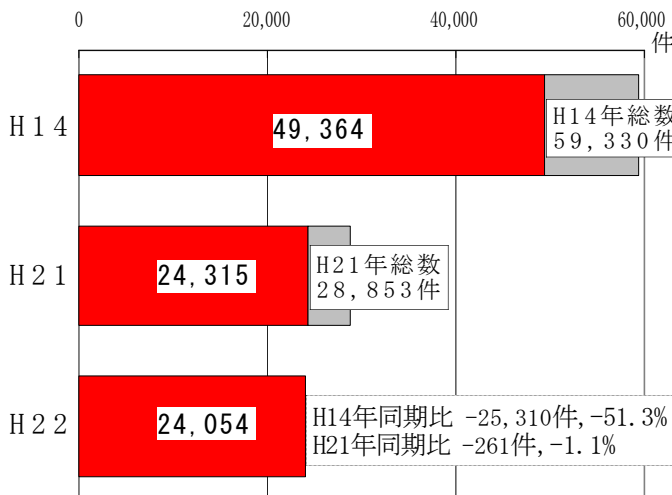
子どもや女性に対する性犯罪や声かけ事案などの把握件数は、本年10月末現在、1,506件です。事案や発生場所別の状況はグラフのとおりで、事案別では約半数を「ちかん」「強制わいせつ」「公然わいせつ」が占め、発生場所別では約4割が裏通りです。また、発生時間は、午後3時から午後7時までの間が多い状況です。

被害に遭わないためにも、裏通りなど暗い場所を通らないようにしましょう。



◎ 県内の刑法犯認知状況 (H22. 10末現在)

運動目標：だれもが“安全・安心”を実感できる広島県の実現
行動目標：今後5年(H18~H22)でピーク時(H14)の半減を目指す



◎ 県内の交通事故発生状況 (H22. 10末現在)

○ 死者数が、前年の同じ時期より14人減少しています。
○ 死者数に占める高齢者死者数の割合は30.1%です。
(全国平均49.4%，全国第1位(割合が低い順))

区分	H22・10末	H21・10末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	13,408件	14,188件	-780件	-5.5%	
死者数	103人	117人	-14人	-12.0%	
負傷者数	16,812人	17,990人	-1,178人	-6.5%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	3,720件	3,960件	-240件	-6.1%
	死者数	31人	52人	-21人	-40.4%
飲酒	事故件数(1当)	136件	130件	6件	4.6%
	死者数	2人	8人	-6人	-75.0%

「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の第2期アクション・プランの「刑法犯認知件数でピーク時の半減を目指す」という行動目標は、平成21年に1年前倒しで達成しました。

今後は、これまでの成果を土台にこの運動を更に発展させるため、「犯罪をなくす」という新たな視点にたった第3期アクション・プランを策定しました。

「なくそう犯罪」ひろしま新アクション・プラン

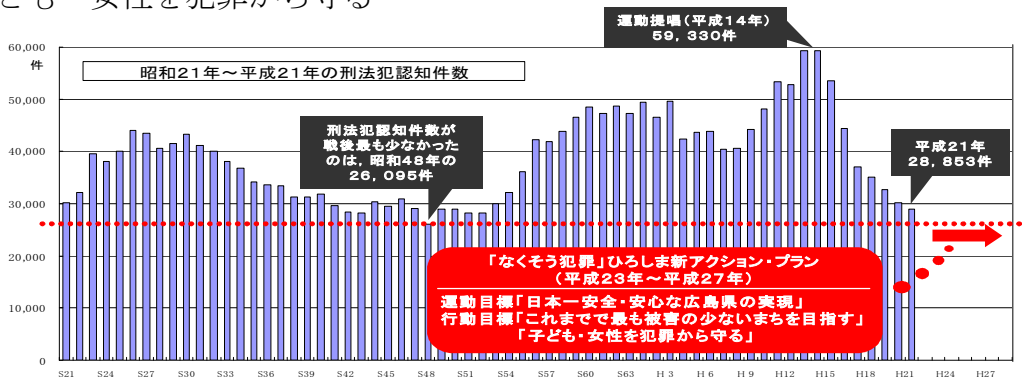
～犯罪の起こらない社会へ～

1 運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

2 行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る



本県において、刑法犯認知件数が戦後最も少なかったのは、昭和48年の26,095件です。この昭和48年を下回る刑法犯認知件数とし、更に政令指定都市等を含む都道府県で最も少ない犯罪率とするなど、当時の安定した時代を超える安全で安心なまちを目指します。さらに、安心感をより一層高めるため、犯罪弱者とされる子どもや女性を声かけ、つきまとい、強制わいせつ、暴行、傷害などの身体犯などから守るための対策を推進します。

3 計画期間

平成23年～27年(5年間)

4 重点施策

(1) 安全・安心なまちづくり

- 防犯行動が自然にとれる意識づくり ～個を育む対策～
- 互いに支え合う地域づくり ～つながりを育む対策～
- 犯罪の起こらない環境づくり ～安全・安心をもたらす対策～

(2) 安全・安心をもたらす警察活動

- 身近な犯罪抑止対策の推進
- 少年総合対策の推進
- 県民に脅威を与える悪質重要犯罪・暴力団等組織犯罪対策の推進
- テロ対策の推進
- 県民の要望にこたえる警察活動の推進

